



緑町防災かわら版

盛岡市が市とNPO、そして住民との協働を推進するための協働パイロット事業「自主防災のまちづくり事業」は、2月5日(日)の「防災点検ウォッチング」と「防災勉強会」に続き、2月19日(日)に「防災検討会」として緑町自治会の皆さまとワークショップを行いました。

ワークショップ?

住民が中心になって地域の課題を解決しようとする場合に、ワークショップという手法がよく用いられます。漠然と集まって話し合いを重ねても、中々進展がない場合が多いですね。そこでファシリテータという舵取り役が加わって出された課題や提案を整理しながら進め、よりよい課題解決に結びつける一つの方法です。

2月19日(日)
19:00~

防災検討会(ワークショップ)開催!

第2回

前回の防災勉強会(2月5日(日)開催)に比べるとかなり暖くなりました。谷地頭集会所の外ではご近所の猫たちがにぎやかな2月19日(日)夜7:00、第2回の防災検討会が開催されました。暖かくなった分、雪解けで路地の足元は悪く、お集まりいただいた皆さまにはご不便をおかけいたしました。

今回は、ワークショップという手法で前回の勉強会での課題を参考にしながら、具体的な問題とその解決方法についてお集まりいただいた皆さまとグループワークをしました。

ご参加の皆さま

緑町自治会 藤澤会長

緑町自治会の皆さま

盛岡市総務部消防防災課 高橋課長

同課 吉田課長補佐

アジア航測株式会社 菅原盛岡支店長

NPO 法人アイディングスタッフ



*** 今回の検討会(ワークショップ)の主な流れ ***

- 4つのグループに分かれて、まずは自己紹介。
- 地震や火災などの災害に関して一番心配なことは何ですか?
- それを解決するために今すぐ出来ることな何でしょう?
- 各班のまとめと発表。



本事業は、盛岡市協働推進パイロット事業に特定非営利活動法人アイディングが採択され、緑町自治会の協力で地域の自主防災を推進する目的で行うものです。ご町内の多くの方々のご参加をお待ちしております。

お問合せ: 特定非営利活動法人(NPO法人)アイディング 盛岡市仙北3丁目21-6 tel(635-4416) fax(636-0284)

E-mail: info@iding.org URL: <http://www.iding.org>

特定非営利活動法人アイディングは、いわての元気を応援しています! 様々な人達や団体と協力して、まちやひとを元気にするイベントや講座、ワークショップなどを開催しています。活動の様子は、ホームページ(上記URL)でもご覧いただけます。

* * * 4 グループの検討の結果 * * *

参加 17 名の皆さまが4つのグループに分かれて、ファシリテータと共に「地震や火災が起きたら今心配されることは何だろう?」「その解決のために今すぐ自分たちで出来ることは何だろう?」とグループワークを行いました。活発な意見が沢山出されました。さて、その結果は?

心配なこと	今すぐ出来ること
持ち出し品の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち出し品の準備とリストアップ ・リュックに最低限の物を入れて置く ・必要な物をすぐ持ち出せるよう置く場所を決めておく
家族との連絡・隣近所との連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡方法を決めておく ・公衆電話の場所を確認しておく ・連絡(人的)方法の確保(電話以外) ・平日頃から隣近所とコミュニケーションを図る
災害弱者(子ども、高齢者、要介護者、病人)の安否・救助	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者に対し事前に把握しておく ・避難が困難な人への援助 ・救護班をつくる
家屋や家具の崩壊・転倒	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒防止グッズで固定する ・家屋の耐震強化
避難路の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・各班で避難誘導班を組織 ・定期的な避難路の確認(広報) ・除雪をする ・路上駐車をしない
一次避難場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・各班で近くに1次避難場所を決める
救助、けが・病気	<ul style="list-style-type: none"> ・救急診療所の設置 ・応急処置の修得
助けを求める方法	<ul style="list-style-type: none"> ・隣同士の声掛け ・各班で隣同士の救助をするように組織化する
地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、体験実習 ・定期的に避難経路等を確認、回覧する。 ・連絡板の設置 ・指定避難所の鍵を地域で持っているようにする。 ・消火班、バケツ隊と水源の確保
避難の決断・タイミング	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告と連絡の徹底



心配なこととして他に、ライフラインの確保、2次被害、経済的損失、避難場所での生活、仕事のことなどがあげられました。参加者全員で話し合うことで、私たちが今すぐできる様々なことが出てきました。今回明らかになったことや、気がついたこと、路上駐車をしないなどの当たり前のことなど沢山あります。よく考えてみるとまだまだありそうですね。

今回参加された皆さまの感想です。(ほんの一部です。スペースがなくてごめんなさい!)

- ・ 防災の意識が高まった。何が問題なのかわかってきた。
- ・ 聞くだけの講演会などより実になった。
- ・ 近所の方との連携がとても大切だと、改めて実感した。
- ・ 前回より参加者が少ないようだ。全員に協力してもらおう体制が必要だと思う。

さて、次回はいよいよ最終回です!

3月5日(日) 19:00より 会場:谷地頭集会所 第3回「防災発表会」

これまでの結果から地域の自主防災を実際にどう行っていくのかをまとめ、発表します。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております!

